平高通信 VOL 37

TAIRADATE SENIOR HIGH SCHOOL

平高HPはこちらから

平高の魅力や話題を発信します　【問い合わせ先】平舘高　☎74-2610　HP：http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/

51人が新しい道へ旅立つ

◆保護者・来賓に見守られ卒業式を挙行

令和４年度平舘高校卒業式が３月１日、同校第一体育館で行われました。今年も１・２年生は参列できませんでしたが、１・２年生の家庭クラブ員から贈られた紫根染のコサージュを胸に彩った卒業生一人一人に校長から卒業証書が授与されました。

北島亨校長は式辞の結びに「人生で大切なことは、何事にもくじけない強い意志と優しい心です。輝く未来に力強く旅立って下さい」と激励すると、佐々木孝弘市長は、松下幸之助氏の著書を引用し、これからの生き方を助言。「次は二十歳のつどいで会いましょう」と力強く励ましました。

卒業生代表で答辞を述べる小澤さん

卒業生代表の小澤優奈さんは答辞で「校訓の開拓者精神のもと、新しいことにもどんどん挑戦して、活気あふれる平舘高校を築き上げてください」と後輩にエールを送りました。卒業生51人は、胸を張ってそれぞれの新たな進路へ旅立ちます。

◆３月16日現在の進路状況

就職内定率は100%、進学は国公立大学へ23年連続の合格実績となりました。就職は県内企業へ23人、県外企業へ１人で、進学先は岩手大や室蘭工業大、明治大、東北学院大、日本福祉大、文化学園大、盛岡大短期大学部の他、各種専門学校となっています。

進学・就職状況	
４年制大学	6
短大	4
専門学校(医療系含む)	15
就職(県内・県外)	24

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

生徒会副会長

遠藤 藍瑠さん

（普通科２年：西根中出身）

★入学した理由・現在の目標

ボランティア活動が活発だと聞き、地域に貢献したいという思いが強かったので、平高を志望しました。勉強と部活動、ボランティア活動を頑張ろうと目標を決めて学校生活をしています。

★平高で頑張っていること

行事とボランティア活動を頑張っています。行事は学校行事委員として、みんなと協力しながら楽しい思い出を残すためにはどうすればよいか考えながら活動に取り組んでいます。ボランティア活動は積極的に希望し、田頭小学校の寺子屋で小学生の学習支援、ほおずきの会の朗読ボランティアでは、視覚障がいのある人のために広報はちまんたいの朗読をしました。

★学校生活の楽しいところ

平高の授業は、どの教科でもグループワークがあり、同じ班の人と協力して活動しながら学ぶことが楽しいです。

★将来の夢

教育系の仕事に就きたいと思っています。進学のために、今は勉強と漢字検定などの資格取得に力を入れています。

学習支援のボランティアをする遠藤さん(右)

平高通信 VOL 38

TAIRADATE SENIOR HIGH SCHOOL

平高HPはこちらから

平高の魅力や話題を発信します　【問い合わせ先】平舘高　☎74-2610　HP：http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/

高校生活がスタート

◆それぞれが決意を胸に入学式に臨む

本年度の平舘高等学校入学式は４月７日、本校体育館で行われました。真新しい制服に身を包んだ新入生37人は、担任の呼名に元気に返事をし、千葉賢（けん）校長から入学許可を受けました。

千葉校長は「希望に溢れ、夢を育み、健やかに成長すること、強い意思と優しい心を持って充実した高校生活を送ることを心から期待します」と式辞を述べると、来賓の佐々木孝弘市長は「社会に広く目を向けながら、多くの仲間と友情を育む中で実り多い高校生活を送ってください」と生徒たちを励ましました。

新入生を代表し宣誓する田代さん

新入生代表の田代のどかさん（松尾中出身）は「悩むこと、迷うこともあるかもしれない、今ここにいる仲間と支え合って乗り越えたい。将来の夢を達成するために精一杯努力する」と宣誓。目標を持って本校の門をくぐった新入生の今後の活躍が楽しみです。

◆千葉校長が着任

校長の千葉賢と申します。地域の熱い支援を受けながら、学びに励む本校生徒はとても恵まれています。入学式での新入生の態度は大変立派なものでした。皆様の支えをいただきながら教育活動を進めて参ります。どうぞよろしくお願いいたします。

出身は一関市大東町です

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

生徒会副議長

小林 由奈（ゆな）さん

（家政科学科２年：西根中出身）

★平高に入学した理由

私は勉強に苦手意識が強く、高校では勉強に対する意識を変えて取り組んでみたいと思っていたので、先生の教え方が丁寧で分かりやすいと聞いていた平高を志望しました。また、家から通いやすく、時間が有効に使えると思ったことも志望した理由です。

★平高で頑張っていること

授業に集中して取り組むことを意識しています。テストの点数も上がり、自分自身の勉強に対する意識も変わってきたと実感しています。

また、部活動は陸上競技部で積極的に活動しています。今の自分の課題は持久力の向上で、ウエイトトレーニングや長距離走など、先生にアドバイスを受けながら工夫して練習に取り組んでいます。

★平高の魅力は？

先生が身近で、話がしやすいところ、授業が丁寧で分かりやすいところ、勉強でも部活動でも自分がやりたいことに挑戦できる環境が整っていることです。

★将来の夢・進路は？

患者さん一人一人に寄り添い、たくさんの人に元気を与えることができる看護師になることが夢です。そのために先生に協力してもらい、授業以外の課題にも取り組んで、帰宅後も勉強することを習慣化しています。

自己ベスト更新に向け練習に励む小林さん

平高通信 VOL 39

TAIRADATE SENIOR HIGH SCHOOL

平高HPはこちらから

平高の魅力や話題を発信します　【問い合わせ先】平舘高　☎74-2610　HP：http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/

今年も活発に学習に取り組んでいます

◆タイの高校生との交流会を開催

市を訪れたタイ・バンコクのサラカーム・ピタヤコム高の生徒と平舘高校代表生徒との交流会が４月23日、市観光協会の協力のもと本校体育館で行われました。開会式で生徒会長の大澤英朗（ひであき）さんは「公用語が英語ではない国同士の高校生が、英語を使って互いに交流する貴重な機会です。積極的に交流し、楽しい時間にしていきましょう」と歓迎。交流会では、平高の生徒が紫根染などを英語で紹介するとともに、相撲部は日本の国技である相撲を実際に体験してもらい、会を盛り上げました。タイの高校生からはダンスの披露があり、最後は全員でタイのダンスをして親交を深めました。言葉の壁を乗り越え、互いに笑顔で記念写真撮影をするなど、大盛況の交流会となりました。

ダンスで交流を深める生徒たち

◆ムラサキ（紫草）の芽が出た

家政科学科３年　佐々木 心優（みゆう）

昨年まいたムラサキ（紫草）の種から、この春に芽が出ました。発芽率は59％で、５月初旬の双葉の大きさは１センチ程です。ＰＴＡ、同窓会、市内小学校の児童の皆さんや盛岡農業高校の生徒に植えてもらったものもあり、成長を楽しみに観察し、今後は、その苗から再びムラサキの咲き誇る里にしたいと思います。

発芽状況を観察する

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

美術部・家庭クラブ会計監査

泉山 奏（かなで）さん

（家政科学科３年：安代中出身）

★平高に入学した理由

家から通いやすいということ、専門性が身に付けられ「何にでも積極的に挑戦する」という自分の目標が実現できる学校だと思ったからです。

★平高で頑張っていること

委員会活動や部活動、家庭クラブ活動に積極的に取り組んでいます。それぞれ活動に終わりはなく、無限のループに挑むような感じで大変ですが「何にでも積極的に」という自分の目標があるので頑張っています。

最近の活動では、タイの高校生との交流会で紫根染について英語で発表することになり、スピーチを必死で覚えて当日に備えました。

★平高の楽しいところは？

学校生活はすごく楽しいです。クラスの雰囲気が明るく、苦しい事も皆で協力して乗り越えられるので、とても良いなと思っています。

★将来の夢・進路は？

高校卒業後は就職したいと思っています。人と関わる接客やサービスの仕事に就きたいと考えているので、その仕事を行っていく上で困らないように、普段から丁寧な言葉遣いをすることや笑顔でいることを心掛けています。

★平高の魅力は？

個性豊かな先生がたくさんいることや、生徒一人一人が自分の夢に向かい取り組んでいるところが、平高の良いところだと思います。

寺田学童で読み聞かせをする泉山さん

平高通信 VOL 40

TAIRADATE SENIOR HIGH SCHOOL

平高公認キャラクター
「平丸（ひらまる）くん」

平高の魅力や話題を発信します　【問い合わせ先】平舘高　☎74-2610　HP：http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/

活動に理解と応援をお願いします

◆総合的な探究の時間で市の自然に触れる

２年生49人は６月１日、平高ＯＢで学校運営協議会会長（八幡平遭難対策委員会救助隊隊長）の田中耕一さんの助言を頂き、市の自然観光資源の岩手山焼走り熔岩流・松川渓谷・金沢清水湧水群・八幡平ドラゴンアイを見学し、地元理解を深めました。金沢清水の水の透明度に驚いた様子の生徒や、開眼はしていませんでしたが、ドラゴンアイを初めて見たという生徒もいて、八幡平の自然の魅力にあらためて気づいた１日となりました。

焼走り溶岩流を見学する生徒

◆相撲部が県高校総合体育大会で10連覇

普通科３年　工藤 佳太（けいた）

自分たち相撲部は５月27日に行われた県高総体で団体優勝し、10連覇を果たすことができました。東北・全国大会につながる大事な大会を迎え、団体戦では相手校に５対０で完勝することができました。

全国の舞台で勝つために、去年から多くの練習をこなし、県外合宿も行い実力を付けてきました。インターハイ団体ベスト８を目標に一人一人がさらに実力を付けていけるよう頑張ります。これからも応援お願いします。

県高総体での団体優勝を喜ぶ相撲部員

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

囲碁・将棋部 部長
滝川 龍（りゅう）さん
（普通科３年：松尾中出身）

★平高に入学した理由

平高生だった兄からいろいろと学校の話を聞いて、興味を持っていたし、地元にある唯一の高校なので、高校は平高に入ることを自然に考えていました。

★学校の楽しいところ

体育祭などの学校行事でみんなと協力して取り組むことが楽しいです。

★頑張っていること

学業成績でクラストップ３になることを目標に頑張ってきました。２年生の時にやっとクラスで１位になることができました。数学が好きで、一番力を入れています。

勉強以外では、これから社会に出るにあたり、社会人としての基本を大切にしたいので、あいさつを丁寧にすることを心掛けています。部活動では７月の「高等学校将棋竜王戦」が最後の大会になるので、大会で級の認定証がもらえるよう頑張っています。顧問の中島先生にも何とか１勝したいと思っています。

★将来の夢は？

市内の企業に就職するのが第１志望で、市の過疎化を食い止める一人になりたいと考えています。

タイ国高校生との交流会で、英語で市の観光について発表する滝川さん

平高通信 VOL 41

TAIRADATE SENIOR HIGH SCHOOL

平高公認キャラクター
「平丸（とらまる）くん」

平高の魅力や話題を発信します　【問い合わせ先】平舘高　☎74-2610　HP：http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/

行事にも校外学習にも熱心に

◆熱き戦いに大盛況の二日間　平高体育祭を開催

平高の２大行事の一つである体育祭が６月22、23の両日、本校で行われました。２日間で８種目が行われた体育祭は、どの種目でも学年の垣根を越えた熱い戦いが繰り広げられ、生徒たちは大いに盛り上がりました。また、昼にはＰＴＡ有志の「ひっつみレンジャー」によりひっつみの提供をいただきました。

好プレーに沸いたソフトボール競技

学校行事委員の田村元気（げんき）さん（３年）は「ソフトボールが印象に残っています。クラスメイトのファインプレーなどもあり、全員で試合を楽しむことができました」と高校生活最後の体育祭を満喫した様子でした。

◆「生活産業基礎」の授業で職場見学実習

家政科学科１年　小林 美優（みゆ）

家政科学科１年生９人は６月16日に、職場見学実習で柏台の住宅工業ミサワホームと九戸村にある高倉工芸を見学しました。ミサワホームでは、パネル構造について学びました。高倉工芸では箒（ほうき）が手作業で丁寧に作られていることに感動し、また、ペット用の癒し箒（なでるときに使う）などたくさんの種類があることも知り、今回の見学はさまざまなことを発見する良い機会になりました。

パネル構造の説明を聞く生徒たち

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

吹奏楽部 部長
山下 実桜（みお）さん
（普通科３年：西根一中出身）

★平高に入学した理由

通学しやすいと思ったことと、普通科のカリキュラムは、就職コースと進学コースがあり、高校に入ってから自分の進路希望に合わせて選択できるので、その点が特に良いと思い希望しました。

★学校の楽しいところ

気の合う友だちと一緒に過ごせることや生徒会活動などでさまざまな経験ができること、体育祭や文化祭などの行事などが楽しいです。

★頑張っていること

目標は評定を上げることと漢字検定・英語検定でより上級を取得することです。苦手分野を克服するのに手間取りましたが、諦めずに頑張りました。また、検定は何回も挑戦し、一歩ずつ成長することができたと思っています。

部活動は、先輩が卒業してから部員２人だけになり、思うように活動ができませんでしたが、新入部員が入ったので、最後のコンクールや紫薫祭に向けて精一杯練習しています。

★将来の夢は？

地元に貢献したいという思いから、県職員として働きたいと考えています。より専門的な勉強をするために、県内の４年制大学への進学を目指し勉強に励んでいます。

紫薫祭のステージ発表でサックスを演奏する山下さん（左）

平高通信 VOL 42

TAIRADATE SENIOR HIGH SCHOOL

平高公認キャラクター
「平丸（たいらまる）くん」

平高の魅力や話題を発信します　【問い合わせ先】平舘高　☎74-2610　HP：http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/

ムラサキ（紫草）が結ぶ学びの心

本校では、創立60周年を記念してムラサキ（紫草）の栽培を始め、現在はムラサキの苗を１年生の時に植え、３年ものの紫草を収穫。染めたハンカチをコサージュにして卒業生の胸元を彩るというスタイルが定着しています。

活動の中で、次は自分たちの手で種から育てることに挑戦しようと、昨年９月から11月にかけ地域の人や小学生、盛岡農高生とも一緒に種をまきました。

ムラサキは絶滅危惧種で、本当に発芽するのかわかりませんでしたが、冬の間は学童保育クラブの児童に一度は途絶えた紫根染を復活させるという宮澤賢治の物語「紫紺染について」の読み聞かせをするなどして雪解けを待ちました。春になると待望の芽が顔を出し（発芽率は59%）、5月に同窓生の小船清悦さんの指導の下でポット上げを実施。6月には市内小・中学校、福祉施設や盛岡農高などで植栽をしました。

植栽を通じた小学生やお年寄りとの交流は、地域や人とのつながりの大切さを育む活動となっています。

発芽したムラサキ苗のポット上げ

放課後活動での水まき

平笠小でムラサキを植栽

今回新しく開墾したムラサキの花壇

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

家庭クラブ会長・陸上競技部

菊池 修平さん

（家政科学科３年：松尾中出身）

★平高に入学した理由

食物や栄養、調理の勉強をたくさんできる家政科学科に入学すれば「調理師になる」という自分の夢に近づくことができると思い希望しました。

★平高で頑張っていること

食物検定の資格取得に向けて、1年生の時から調理の練習を頑張ってきました。特に3年生になってから受検した食物検定2級では、煮物を入れた弁当の献立を一から考えて制限時間内に作らなければならないので大変でしたが、事前に何回も練習をして挑み合格することができました。

また家庭クラブの会長として、絶滅危惧種となっているムラサキの保護活動や研究活動に取り組んでいます。活動に協力してくださる地域の人と出会い、さらに頑張っていこうと思いました。

★将来の夢は？

和食を提供する調理師になりたいです。調理師は、いろいろな食材を美しい料理に変化させることができるので、幼い頃からの憧れでした。高校卒業後は、調理師資格を取得するため専門学校への進学を希望しています。

★平高の魅力は

進路の事や困り事を相談しやすい環境があることと、校章にもなっているムラサキを保護し広める活動をしていることが魅力だと思います。

ムラサキ苗のポット上げに取り組む修平さん

平高相撲部が北海道インターハイで大活躍

北海道インターハイに出場した本校相撲部員（写真上：左から工藤 琉誠、伊藤 光希、松浦 琢磨、写真下：左から田村 昂大、工藤 佳太、工藤 煌斗）

全国高等学校総合体育大会（北海道インターハイ2023）相撲競技が８月４日から６日まで北海道北斗市で行われました。本校からは相撲部員６人が県代表として出場。個人体重別100㌔級で工藤佳太選手が２年ぶりに優勝し、また団体戦では７年ぶりに５位入賞するなど、目覚ましい活躍を見せました。生徒は全国の舞台での経験を胸に、次の目標を見据えています。

結果

団体戦　第５位
個人戦　伊藤 光希：優秀16選手
工藤 佳太：優秀32選手
田村 昂大：優秀32選手決定トーナメント２回戦敗退
個人体重別80㌔級　松浦 琢磨：１回戦敗退
個人体重別100㌔級　工藤 佳太：優勝

平高公認キャラクター「平丸（しゅまる）くん」

Interview　大会を終えての感想や後輩に期待すること

田村 昂大（こうだい）（３年）

個人戦は良い成績を残すことができなかったが、団体戦は決勝トーナメントに進むことができ、目標のベスト８が達成できた。
後輩たちは筋トレなどで基礎体力を高めるとともに、まとまりを大事に頑張って欲しい。

工藤 佳太（けいた）（３年）

３年間の集大成となるインターハイで、団体戦・個人戦ともに目標を達成できてよかった。国体でも入賞できるよう頑張ります。
これからの平高相撲部に期待することは、インターハイで団体優勝して欲しい。

工藤 煌斗（きらと）（３年）

高校最後のインターハイで活躍できたので嬉しかった。大学に行っても相撲を続ける予定なのでこれからも頑張りたい。
平高相撲部には、これからも心を一つにして頑張って欲しい。

伊藤 光希（みつき）（２年）

個人戦はベスト16で、もう一つ勝てなかったのが悔しい。団体戦は全員の力で５位入賞することができた。全国の強者たちの取組を見て、とても良い刺激を受けた。
次は自分がチームを引っ張り、今年以上の成績を残したい。

工藤 琉誠（りゅうせい）（１年）

今回のインターハイでは全然勝つことができず、チームに貢献できたという実感が少ない。
今後は、体重を増やして全国に挑戦し、チームのために勝てるように頑張っていきたい。

松浦 琢磨（たくま）（１年）

初めてのインターハイはとても緊張した。観客の多さと選手の多さにもびっくりした。
勝つことはできなかったが、来年のインターハイを目指し、まず新人戦で東北大会を目指したい。これからも応援をよろしくお願いします。

平高通信 VOL 44

TAIRADATE SENIOR HIGH SCHOOL

平高公認キャラクター
「平丸（たいらまる）くん」

平高の魅力や話題を発信します　【問い合わせ先】平舘高　☎74-2610　HP：http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/

創立75周年目の紫薫祭（しくんさい）を開催

10月14・15の両日、平高の一大行事である紫薫祭を開きました。創立75周年となる本年は、２日目の一般公開を3年ぶりに入場制限なしで行い、保護者だけでなく地域の人や同窓生、中学生など多くの人に来場していただきました。

今年度は「my passion～一人ひとりの輝き～」をテーマに掲げ、生徒は一人一人が主役となって、展示部門・ステージ部門・模擬店のそれぞれで活躍。来場者を心からおもてなしすることができました。昨年度は行われなかった生徒会執行部によるスタンプラリーやPTA青空市、同窓会展示、３年生による模擬店などが紫薫祭をさらに盛り上げました。また、両日行われたステージ部門の吹奏楽部の発表には、OBやOGに千葉校長も加わり、迫力のある演奏会となりました。

家政科学科による展示の様子

新生徒会長の阿部颯太（そうた）さんは「３年ぶりに一般の人を招くことができて喜ばしい。お化け屋敷や模擬店など３年生による企画が特に人気で、来年は、さらににぎわいのある紫薫祭になるよう精一杯努力していきたい」と期待を込めました。

来年の紫薫祭も乞うご期待です。

吹奏楽部によるステージ発表

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

相撲部 部長
田村 昂大（こうだい）さん
（普通科３年：西根一中出身）

★平高に入学した理由

小学校2年生から始めた相撲を高校でも続け、インターハイで入賞したいと思い、相撲が強い平高に入学しました。

★平高で頑張っていること

相撲の稽古を一番頑張ってきました。目標に掲げたインターハイ入賞を目指して、日々の稽古でできるだけ多くの取組をし、ぶつかり稽古にも自分の体力の限界まで取り組んできました。また、将来の夢を叶えるために勉強も頑張っています。

★平高の楽しいところや魅力

学校生活全般が楽しいです。特に体育祭などの楽しい行事や、仲の良い友だちとの何気ない日常の会話が楽しいです。今年の体育祭は、自分のクラスが優勝したので、3年間の体育祭の中で1番盛り上がりました。

★将来の夢・進路は？

将来の夢は、大学卒業後に地元に戻って消防士になることです。最近、豪雨や台風などの自然災害が多いと感じているので、経験を積んで、瞬時に判断が下せるような力を身に付け、災害時には一人でも多くの人命を救えるような、地域のために貢献できる消防士になりたいと考えています。

北海道インターハイで相手選手に立ち向かう田村さん（左）（8月4日、北海道北斗市）

平高通信 VOL 45

TAIRADATE SENIOR HIGH SCHOOL

平高公認キャラクター
「平丸（ひらまる）くん」

平高の魅力や話題を発信します　【問い合わせ先】平舘高　☎74-2610　HP：http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/

地域とともに歩む平舘高校

◆音で言葉を届ける　～朗読ボランティアの活動～

本校が朗読ボランティア「ほおずきの会」（瀬川愛子会長）の活動に加わり３年目になりました。本年は16人の平高生が希望し、毎月第３水曜日に輪番でボランティアメンバーとして活動しています。

目の不自由な人に「広報はちまんたい」を音声で届ける声のボランティア活動では、平高生は主に「平高通信、博物館、図書館だより、花輪線で出掛けよう」のページを担当し、意欲的に取り組んでいます。ほおずきの会の副会長で本校書道講師の関山幸子先生からは「言葉の確認をしながら読む練習をする姿に感心しています。利用者からとても喜ばれていて、ぜひ継続してほしいです」と評価をいただいています。これからも高校生らしい爽やかな声が届けられるよう頑張ります。

音声の録音本番に臨む生徒

◆地域の支援を受けて学びを深めています

市から平舘高等学校教育振興会に、本年度の教育振興促進事業費補助金として745万円の助成をいただいています。補助金は制服購入費や通学定期補助のほか、部活動強化、進路指導などさまざまな教育活動に活用しています。

昨年度から実施している制服購入費の補助は、男子用が３万円、女子用が4万円（昨年度は３万円）と、割高な女子用の制服購入費への補助額が手厚くなりました。

りんとした表情で制服を着用する家政科学科（１年）の生徒

平高 LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

生徒会長・ソフトテニス部
阿部 颯太（そうた）さん
（普通科２年：安代中出身）

★平高に入学した理由

中学の時、学校を休む事が多くなった時期があり、高校進学を諦めかけた事がありました。親に迷惑をかけるわけにはいかないので、通学がしやすい平高に進学先を定め、大学進学まで視野に入れて頑張ることにしました。

★平高で頑張っていること

大学進学を目指して、勉強を頑張っています。他にも、大学入試の突破に必要な自己アピール力などを向上させるため、地域のボランティア活動など校外活動にも積極的に取り組んでいます。

また、生徒会長になったので、生徒の代表として、学校生活の中で生徒のみなさんの要望などを実現させることができるよう頑張っていこうと思っています。

★平高の魅力

市の魅力を体感できる校外学習が多いことや、家政科学科がムラサキ研究に力を入れて地域を超えて活動し、平高の顔となっていることです。

★将来の夢・進路は？

大学の理工学部で生命科学を学び、生活の役に立つ研究をしたいです。今は大学進学のため、授業に加えて先生から個別指導を受けさせてもらっています。

新生徒会役員認証式にて生徒を代表して決意表明をする阿部さん（左から２番目）

Vol. 46

平高通信

Tairadate Senior High School

平高HPはこちらから　平高noteはこちらから

（問い合わせ先）平舘高校 ☎ 74-2610
HP　http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/

平高の魅力や話題を発信します

高校生活の集大成へ向け修学旅行

２年生最大の行事である修学旅行は11月21日から24日まで３泊４日の日程で行われ、京都・奈良・大阪方面へ行ってきました。

訪問する寺院の歴史的経緯・価値などを事前に調べたうえで修学旅行に臨んだ生徒たちは、１日目に金閣寺、清水寺を見学。世界遺産を間近で見ることができました。２日目は班に分かれて八坂神社、平等院鳳凰堂などの名所を巡り、有意義な一日を過ごすと、３日目は奈良で薬師寺などを見学したのち、午後はＵＳＪを満喫。最終日に世界最大級の水族館ともいわれる大阪の海遊館を見学。帰路に着いた生徒たちの表情は、疲れた顔にも充実感が溢れていました。

東大寺の大仏（座高15㍍）を見上げる生徒

生徒たちは団体行動、班行動での自主性や協調性など、１人の人間として大きく成長することができました。

清水寺では弁慶が使っていたとされる杖の重さを体感

平高公認キャラクター「平丸（ひらまる）くん」

修学旅行の感想　普通科２年Ａ組　佐々木　斗磨（とうま）

修学旅行を通して日本だけでなく世界的にも重要なものに触れることができました。どの場所も素敵な場所だったのでもう一度訪れて、じっくり見たいと思いました。

平高LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

家庭クラブ会長・美術部
遠藤 乎茉綺（こまき）さん
（家政科学科２年：西根一中出身）

★平高に入学した理由

将来、調理師やパティシエになるための学びを深めたいと考えていて、地元の平高でもそれが実現することを知り、入学を決めました。

★平高で頑張っていること

夢への一歩として、まずは食物調理技術検定３級の合格を目指し、授業だけでなく家でも練習を頑張りました。主にだしの取り方や鍋のサイズに応じた火加減の調節をスムーズに行えるよう、何度も繰り返して練習しました。

また、スープメニューを考案するコンテストに向けた取り組みでは、平高チーム３人で考え、作成した「熔岩流黒坦々スープ」に高評価をいただきました。他にも家庭クラブの役員として、研究発表のほかムラサキ草や紫根染の伝承活動など、みんなで力を合わせて頑張っています。

★平高の楽しいところや魅力

家政科学科は、地域に出ての授業が多く、さまざまな体験が楽しいです。また、福祉や調理系などに就職や進学を目指している人の進路を、先生も一緒に考えてくださるため、自分たちも落ち着いて考えることができます。そのような将来を描いている中学生にはぜひお勧めしたいです。

スープメニューのアイデアコンテスト（東洋水産主催）で業界紙記者賞を受賞し喜ぶ遠藤さん（左から２番目）ら

Vol. 47

平高通信

Tairadate Senior High School

平高HPはこちらから　平高noteはこちらから

（問い合わせ先）平舘高校 ☎ 74-2610
HP　http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/

平高の魅力や話題を発信します

平高公認キャラクター「平丸（ひらまる）くん」

ミライの自分を考える　１学年進路講演会

１学年を対象に「働く人講座～先輩の話を聞く会～」が 12月14日、平高視聴覚室で開かれました。

講座は、各企業や事業所で働く先輩の話を聞き、卒業後の進路について具体的に考える契機とするもので、市内外から９つの企業・団体に参加していただきました。本校のＯＢ・ＯＧが講師となって参加した企業も多く、仕事内容、就職に向けての心構え、それぞれの企業・職種から見た高校生のうちに身に付けておいて欲しいこと、働くことの意味ややりがいについて講話いただきました。また高校時代をふり返り、今に生かしていることや、やっておけば良かったこと、後輩たちに多くのメッセージも届けてくれました。

働く上での心構えを学ぶ生徒たち（右）

参加した生徒の感想

家政科学科１年　小林 美優（みゆ）

勉強をしっかりとやって、部活・生徒会・家庭クラブなども頑張っていきたい。挨拶・言葉づかいなどは今まで通り気を付けるほか、自分をアピールできるところをたくさん増やせるように、意識して学校生活を送りたい。

普通科１年　渡辺 帆香（ほのか）

あいさつ、時間をうまく使う、高校生のうちにできる資格の取得、分からないことはそのままにせず友人や先生に積極的に聞いてメモすることを意識していきたい。

普通科１年　田代 のどか

今回教えていただいた社会人になるために必要なことをしっかり身に付けていきたい。資格取得など、自ら失敗を恐れずに挑戦することや何事にも最後まで諦めずに頑張るようにしたい。

平高LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

硬式野球部キャプテン
ショート・キャッチャー
工藤 和都（かずと）さん
（普通科２年：安代中出身）

一緒に、野球と勉強に打ち込もう！

★平高に入学した理由

中学3年の時に、平高の先輩たちの試合を見て「自分もこのチームで野球がしたい」「試合に出て活躍したい」と思い入学を決めました。

★平高で頑張っていること

部活動と学業を両立させて頑張っています。野球部では、部の目標でもある「夏の大会で2勝」するために、練習に取り組んでいます。冬の練習はとても大変ですが、目標達成のためにチームみんなの心を一つにして、ティーバッティングやウエイトトレーニング、食事トレーニングなどを中心に行っています。勉強は、隙間時間を上手く使って課題に取り組んでいます。

★平高の楽しいところや魅力

他の高校にはない、かるた大会やスキー授業があり、充実した学校生活を過ごすことができます。また、少人数の学校なので、先生が丁寧に勉強を教えてくれます。授業でわからない問題も、すぐ先生に質問して解き方を教えてもらうこともできます。

★将来の夢・進路は？

高校卒業後の進路希望は、就職です。具体的には決めていませんが人と関わることができる仕事に就き、地域貢献ができればと考えています。

夏の大会では守備の要ショートにつき、好プレーでチームを鼓舞する工藤さん（写真中央）

Vol. 48

平高通信

Tairadate Senior High School

平高HPはこちらから　平高noteはこちらから

（問い合わせ先）平舘高校 ☎ 74-2610
HP　http://www2.iwate-ed.jp/tar-h/

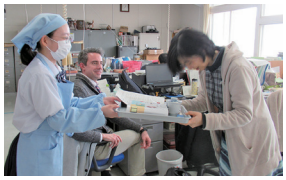
平高の魅力や話題を発信します

家政科学科３年生　学びの集大成発表

本校家政科学科の３年生12人は、卒業を前に毎年行っている「感謝の昼食会」・「課題研究発表会」を開き、３年間の学習の成果を発表しました。

1/19 お世話になった先生へ感謝のお弁当

感謝の昼食会では、地元食材にこだわって完成させたお弁当を、お世話になった先生へ届けました。分担して作った料理は彩りも味も良く、丁寧に仕上げられ、集大成にふさわしい出来栄えでした。また、添えられた文集にもそれぞれの成長が十分感じられました。柴崎光祈（みつき）さんは「たくさんの経験により学校だけでなく地域にも目を向け視野が広くなったように感じます。入学の時より、学力も料理技術も成長したと思います」と３年間をふり返りました。


生徒からの気持ちのこもったお弁当に先生は感動

1/23 地域資源に目を向けた研究成果などを発表

家政科学科の全学年が参加して行われた課題研究発表会では、３年生の保育研究班、被服研究班と家庭クラブ研究班が、２年生からは家庭クラブとホームプロジェクトの計５つのグループが研究発表を行いました。どの研究も家庭科の学習を基本に、地域にも目を向けて取り組んだ内容で、千葉校長は「平高が地域に果たす役割の大きさを感じました」と充実した研究内容を評価しました。

地域資源活用（紫根染・地熱染）について発表した３年生家庭クラブ研究班。地熱染の布を和服に仕立てた作品（写真右側の展示）は見事です

平高LIFE

平高生活を送る生徒を紹介！

美術部・生徒会副議長
平野 心美（ここみ）さん
（普通科２年：西根中出身）

一緒に平高を もり上げましょう

●平高に入学した理由

自宅から一番近く、部活動や学習時間などの時間を有意義に使えると思い志望しました。また、中学校の友だちもたくさん希望していたので、同じ高校だと安心できると思いました。

●平高で頑張っていること

自分の強みを作るため、得意教科の国語に特に力を入れて学習しています。漢字検定では準２級に合格することができ、次は２級合格を目指して受検対策をしています。他にも、１年生から生徒会執行部に所属して、紫薫祭などの行事運営を頑張っています。

●将来の夢・進路は？

卒業後は、就職を希望しています。事務や接客などが自分に合うのではと考えています。自分に合う仕事を見つけていきたいです。

●平高オススメポイント

○クラスは、面白い人が多くて笑いが絶えないです。昼休みに友だちと過ごす時間が特に楽しいです。

○先生に質問しやすいのが平高の魅力です。進路相談も親身になって聞いてくれます。

○地域との結び付きが強く、地元企業の人とも交流する機会があるので、就職活動に取り組みやすいです。

岩手県高校総合文化祭に出品した作品「蓮」と心美さん（校内紫薫ギャラリー）

平高公認キャラクター「平丸くん」